

令和7年度第3回高梁市総合教育会議 会議録

1. 招 集 令和8年1月28日 午後1時00分
2. 開 会 令和8年1月28日 午後1時00分
3. 閉 会 令和8年1月28日 午後2時20分
4. 会議の場所 高梁市役所5階会議室
5. 出席、欠席した構成員の氏名

氏 名	出欠の別
石 田 芳 生	出 席
小 田 幸 伸	出 席
西 井 道 治	出 席
川 上 は る 江	出 席
渡 邊 あ り さ	出 席
山 縣 始	出 席

6. 会議に出席した者の職氏名

職 名	氏 名	備 考
企 画 財 政 部 長	山 川 映 之	
秘 書 企 画 課 長	大 森 恭 二	
教 育 次 長	伊 丹 誠	
教 育 委 員 会 事 務 局 参 与	福 原 洋 子	
教 育 委 員 会 事 務 局 参 与	田 村 啓 介	
教 育 総 務 課 長	藤 井 聡 美	
こ ど も 教 育 課 長	三 宅 美 弥	
社 会 教 育 課 長	亀 山 智 弘	
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	野 口 和 則	
教 育 総 務 課 長 補 佐	羽 井 佐 彰	
教 育 総 務 課 総 務 係 長	大 月 智 美	

7. 協議題

- (1) 高梁市総合計画について
- (2) 高梁市教育大綱（第4次高梁市教育振興基本計画）について
- (3) 学校園適正配置計画に基づく再編の現状について（非公開）
- (4) その他

8. 議事の概要

1 開会

2 あいさつ（市長）

皆様、本日は第3回総合教育会議にご多忙の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

この総合教育会議は、教育行政における最重要課題に対し、市長と教育委員会が一体となって、喫緊の課題への対応や、中長期的な教育政策の方向性について、集中的に協議を行う貴重な場として位置づけられております。

私自身も、教育委員の皆様と教育施策について直接語るができる大切な機会と感じています。

さて、現在本市では、ご承知のとおり令和8年度からの高梁市総合計画及び第4次高梁市教育振興基本計画の策定に向けた検討を進めております。これらの計画は、今後の高梁市のまちづくりや教育の方向性を示す重要な指針であり、市民の皆さんが健康で幸せに暮らせる地域の実現を目指すものです。

前回の総合教育会議でもこれらについて協議いただきましたが、さらに検討を進めております。高梁市総合計画の概略について、また高梁市教育大綱及び第4次高梁市教育振興基本計画について説明させていただき、策定に向けご意見をいただきますようお願いいたします。

このほか、令和6年11月に策定しました高梁市立学校園適正配置計画に基づき進めております学校園の再編状況について説明させていただきます。

高梁市の子どもたちにとって最適な教育及びより良い環境は何かということを最優先に、皆様とともに考えていきたいと思っております。

今後の教育行政を進めるにあたり、皆様から忌憚のないご意見やご提案をいただきながら、協議してまいりたいと存じますので、本日はどうぞよろしくようお願いいたします。

3 協議題

秘書企画課長	別紙資料により「(1) 高梁市総合計画について」を説明
川上教育委員	今回の基本計画の説明はとてもわかりやすく、施策も以前に比べると焦点化され、本当に子どもを安心して産み、守っていくことに力を入れるとか、健康で豊かに暮らせる環境を整備するとか、ウェルビーイングを目指していくということが焦点的に書かれているので、非常にわかりやすい表現になっていることが良いと思う。 22ページの施策マネジメントで、幸福感の現状値と、目標値が示されており、目標値は全国平均水準への到達を設定したと説明があったので、この目標値は全国平均の水準だと思うのですが、高梁市の幸福感が低くなっていくのは、主な要因としては、どんなことがアンケートでは表れていたのか教えてもらいたい。
秘書企画課長	個人の幸福感については20代から40代の女性の幸福度が全国よりも低い

川上教育委員	<p>というアンケート結果だった。やはり、子育ての関係で買い物をするお店や医療機関などの施設が充実していないという部分が影響しているのかもしれない。</p> <p>アンケートの出産・子育て・介護について不安があるといった回答を踏まえて、今回の具体的な子どもを安心して育てる高梁市の施策に繋がっていくという理解で良いか。</p>
秘書企画課長 西井職務代理者	<p>そこに焦点をあてている。</p> <p>人口ビジョンがあると思うが、具体的にどのくらいの人を下回ったら高梁市として運営ができなくなるのかなと感じた。</p> <p>私たちは、学校園適正配置計画に基づいて、すごく丁寧な説明をしながらお願いをしているが、会議に行かせてもらおうと、もうちょっと自分たちも頑張れるのではないかという意見もいただく。</p>
山川企画財政部長	<p>色々と手立てを打ちながら、高梁市の総合計画も作られ、人口を減らさないようにこのような会議を行っているというのが分かるので、危機感を持つためにももし分かれば教えていただきたい。</p> <p>なかなか難しい問題で、実際に人口がどのくらいになったら、行政に支障が生じるのかという質問は他の会議でもいただくことがある。法律上は市の人口が3万人という特例があるが、我々としては、人口が少なくてもこの地域で幸せに暮らしていただけるようにという思いを持って総合計画を策定している。答えづらい部分もあるが、可能な限り高梁市に定着していただけるよう、そういった思いを持って施策を展開していきたい。</p>
西井職務代理者	<p>例えばの話として、市の適正計画などがあるとびっくりするので、将来的に、10年後、20年後、30年後かは分からないが、やはり高梁市として生きていくためには危機感を持っていかないといけないと思った。</p>
山川企画財政部長	<p>人口減少をなんとかしたいというような思いを持って、この総合計画の総合戦略を推進していく立場なので、その思いを市民の方にも伝えていきたい。</p>
市長	<p>今のペースで人口が減っていくと消費高も減っていく。単独で病院や消防署を運営していくことも困難になる可能性があるので、将来を見据えた財務体制や組織も考えていきたい。</p>
教育総務課長	<p>別紙資料により「(2) 高梁市教育大綱 (第4次高梁市教育振興基本計画) について」を説明</p>
教育総務課長	<p>別紙資料により「(3) 学校園適正配置計画に基づく再編の現状について (非公開)」を説明</p> <p>(高梁市総合教育会議設置要綱第5条第2項により非公開)</p>
川上教育委員	<p><u>アンケートを見せていただき再編時期については延ばさざるを得ないと感じた。理由としては、準備委員会に入りますかとの問いに対して100%の方がノーと回答していたのが、この時期の再編ではダメだというのははっきり意思表示していることを強く感じた。</u></p> <p><u>もう1点は、学校統廃合について賛成ですか、反対ですか。に対して、反対とまだわからないというのを合わせると95.8パーセントの結果が出ているの</u></p>

で、ほとんどの方の意思表示の根拠はこれだと思った。

また、説明会に参加して、考えが変わりましたか。という問いに対して変わらないが77.8%だったので、説明会に対してあまり好意的ではないということだと感じた。説明会での話を伺って、私は丁寧だなと思う反面、メリットとしていつも複数の方が良い、コミュニケーション能力が高まる等だったので、それでは説得力がないだろうというのが個人的な考えだった。

22.2%の方は説明会を聞いて余計不安になったとの結果だったので、説明会をすればするほど、聞けば聞くほど不安要素が高まったという風に伝わってきた。

結果として、もっと時間をかけるべきである、再編時期がおかしいというのが8割、9割近いところでデータとして上がってきているので、無理強いして強制的に実行することは逆に不信感を招くと思っているので、再編時期を延ばす事は妥当だと思っている。

今まで統合してきた学校のこともあるが、今回の川上中学校については他の学校とは温度差が違うと思う。

エリアもものすごく広く、備中町も再編している。

また、1年間近くの準備委員会の空白期間についても、きちんとした説明責任が果たされていなかったことにより不信感が生まれたのではないか。

空白期間が生まれた理由は何にしる、途中できちんとそのことが伝わっていたのかどうかというところが問題で、そこがきっかけで不信感になったという事は行政側としてはエリを正してかないといけないところ。

再編時期の延期については勇気ある発言だったと考えている。

やはり根拠がしっかりあるということと、民意を代表することはどういうことなのか、行政がどうあるべきかについて色々考える機会になった。

川上中学校の生徒の入学予定が示されているが、あくまでもこれは現時点だと思うので、例えば来年に中学校に上がるタイミングに引越しなどで、入学者数が減少し一桁になる可能性も多いと思う。そうなった場合には、どのような方法でアクションを起こすのか想定があるのか。

どちらからということではなく、合意形成が得られていない状況で無理やりということにはならないと考えおり、そのことについてはお伝えしようと思っている。ただ、やはりこの準備委員会で再編時期を決めていただきたいと思っているが、時期をいつにするかっていうのは、今の段階では決めることはできないと思う。教育委員会としては、地域で決めていくことは難しいと思うので、基準を示させてもらっている。

保護者としても、納得できない部分がたくさんあると思う。保護者の方に十分な説明を行い、可能性についてもお伝えするなど、きちんと丁寧に保護者と協議しながら進めていく。

再編が決まらないと、交流などが進まない部分もあるが再編が決まらなくてもできる交流を進めるなど子どもたちの不安を取り除くような取り組みをしていきたい。

川上地域について色々なものがなくなっていく中、学校だけでも残してもらいたいという地域の思いがあると思う。

山縣教育委員

教育総務課長

山縣教育委員

川上教育委員	<p><u>今回の原因や課題について、今後同様のことが発生した場合にスピーディーに解決に取り組んでもらえるようにしてもらいたい。</u></p> <p><u>また地元の中でも、再編に賛成の声を上げづらい雰囲気があるのかもしれないと感じる。責任ある行政として、教育行政の道をつけていくことも大変だと思うが、市長も含めて教育長も頑張っていたきたい。</u></p> <p><u>全国的に人口が減り学校が減少している地域がたくさんあるが、大分県玖珠町では多様な学校を、別の地域では通信制の高校などにより不登校対策に取り組んでいる。</u></p> <p><u>高梁市には広がりを持たせる視点が今までなかったと感じた。多様な視点、視点を広げるためにアンテナを伸ばしていくことが大切。統合だけではなく発展的な取組ができないかと思っているので、みなさんもリサーチしていただき、施策につなげていってほしい。</u></p>
教育次長	<p>別紙資料より「(4) その他について」を説明 【高梁市立中学校部活動の地域展開について】</p>
市長	<p>この地域展開の実施方針に沿って取り組んでいきたいと思っている。</p> <p>しかし予算的なことなど文科省からは示されていない状況で、新年度から受入れ団体への支援を実施するが、指導者に対する報酬や移動手段を市町村が考えるだけの独自の予算が全くない。</p> <p>このような課題について教育委員会部局から市長部局に情報をいただき、移動手段等について要望をいただけたらと思っている。</p>
こども教育課長	<p>移動手段等について今後も検討が必要な部分はあると思うし、地域展開したことにより教育委員会に関係ないという事でもなく、受入れ団体についても社会教育課やスポーツ振興課をはじめ教育委員会全体で進めていくものなので、今後もしっかり子供たちのサポートをしていきたいと思っている</p>
教育長	<p>また、来年度から平日の部活動を全く実施しないというわけではなく、徐々に移行していくことになるので、子どもの人数も変わっていく中、ニーズも変化していくと思うので、総合的に踏まえて検討していく必要があると考えている。</p> <p>市長から移動手段のことについて、協力いただけるということは安心した。</p> <p>部活動となると、運動部のことを対象にイメージ化されているところもあると思うが、文化系の部活動もある。また、ボランティアについても対象と考えている。</p> <p>今まで学校文化の中で実施してきたものを、広く地域全体に広げ対応していただけるように投げかけ進めていきたい。</p> <p>6年間の実施機関となっているが、この6年間を後へ延ばせば伸ばすほどに、今まで実施してきた部活動が衰退してしまう部分もある。</p> <p>例えば野球やサッカー等の大人数でのスポーツや、また文化系であれば吹奏楽や合唱について難しくなる場合もあるので、子どもたちのために一緒に実施していただける方々が声を出してくださっているので、市民の方々にも理解していただけるように私たちも努力していきたい。</p>

4 その他

5 閉会

あいさつ（市長）

本日は、総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございました。

皆様から、多岐にわたる視点からの貴重なご意見やご提案を賜り、本市の教育の方向性を再確認する大変有意義な時間を過ごすことができました。

本日の協議事項については、次年度以降も重要課題のものばかりです。また現在進行中のものもありますので、今後も教育委員の皆様と信頼関係をしっかり築きながら、適切に情報発信を行い、意見交換をしていきたいと考えております。

引き続き、教育委員の皆様には高梁市及び教育のさらなる発展に向けて、ご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

本日は、ありがとうございました。